

RCCプレスリリース

5Gを利用した「新しいイベント参加の形」企画が「ひろしまサンドボックス PITCH TRIAL 5Gチャレンジ」に採択

(株)中国放送は、12月20日に行われる「サタケ第九ひろしま2020～オンライン演奏会」において5Gを利用した遠隔地における合唱参加の実証実験を行います。これは広島県のAI/IoT実証事業「ひろしまサンドボックス PITCH TRIAL 5Gチャレンジ」に企画採択され、NTTドコモの技術協力で実施します。

メイン会場と別の場所にある「リモート合唱」会場を5Gでつないでメイン会場から映像と音声を送ることでリモート会場でもメイン会場同様の臨場感を味わいながら合唱に参加できる環境を構築、リモート会場では参加者のソーシャルディスタンス確保や様々なウィルス感染症対策を施し、安心して参加できる環境作りにも配慮します。



今回の実証実験では「5Gで元気な広島を取り戻せ！」をテーマに、コロナ対応で離れてしまったヒトやコトを新技術「5G」でつなぎ、新しいイベント参加の形を検証します。今後、5Gを活用したリモート参加と従来のリアル参加とを共存させ、より多くの人々が様々な場所から参加できる『ハイブリッド参加型イベント』の実現を目指します。 ※今企画での参加募集は行っておりません

<実証イメージ>

中国放送
「サタケ第九ひろしま2020～
オンライン演奏会」
<https://rcc.jp/event/daiku/>

広島県
「ひろしまサンドボックス」
<https://hiroshima-sandbox.jp/>

